

心不全教育入院のご案内



医療法人社団 宏和会
岡村記念病院



心不全とは

心臓の機能が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなって生命を縮める病気です。

これは 2016 年に日本循環器学会と日本心不全学会が発表した心不全の定義です。

一方で、心不全は“病気”の名前ではなくあらゆる心臓病の終末像の“状態”であるともいわれます。



「心臓が悪いために」～心不全の原因はなんだろう？～

心不全の原因は様々です。あらゆる心臓の病気が最終的に心不全の原因となりうるといわれています。

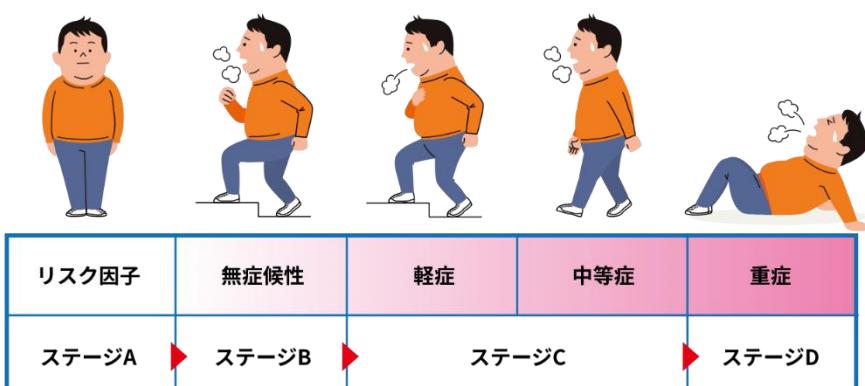
なかでも「高血圧」や、心臓の血管が詰まってしまう「心筋梗塞」、心臓の筋肉が異常になる「心筋症」、心臓の部屋を区切る弁に異常が出る「弁膜症」、脈が乱れる「不整脈」などは心不全を起こしやすい病気です。

心不全はこのような病気の結果、最後にたどり着く、疲れ切ってヘトヘトの状態であるといえます。

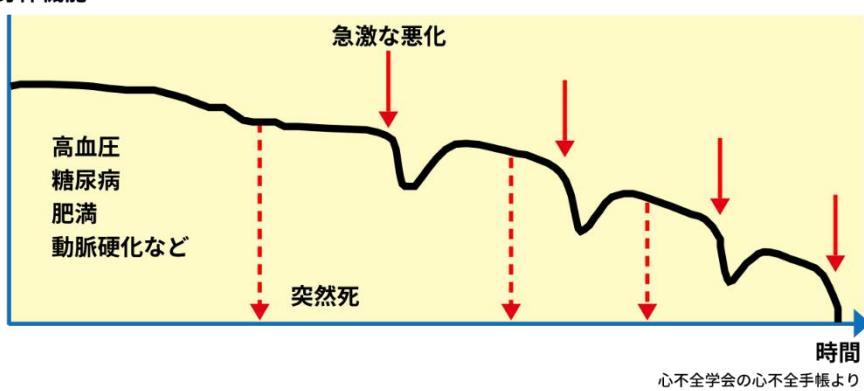


「だんだん悪くなり」～心不全のステージ分類ってなに？～

心不全は完全に治るものではないため、症状が良くなったり悪くなったりを繰り返し、ステージが A→B→C→D と一方通行で進行していきます。決して後戻りしないので、上手に付き合い、それ以上進まないようにすることが重要です。後戻りはできなくともその場で止めることはできるのです。



身体機能





「生命を縮める病気です」～心不全はがんと同じくらい危ない～

心不全で入院したことのある人は平均で 5 年間に約半数の方が亡くなります。

これは大腸がんと同じくらい怖い病気であることを意味します。しかし、後で述べるように心不全は進行を予防できるという特徴があるため、余命は個人差が大きく「余命は何年です」とは説明ができないのです。つまり余命を決めるのはあなた自身であるともいえます。



心不全とうまく付き合っていくために

心不全を悪化させないための正しい知識を学び、ご自身の生活に取り込み、健康の自己管理を行うことで将来の心不全入院を予防しましょう。

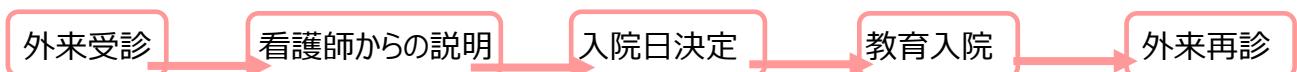


心不全教育入院とは

心不全教育入院とは、今は心不全の悪化を起こしていないけれど、心不全の原因となる病気を持っている方に心不全を悪くしないためのコツを知ってもらうための入院です。3 泊 4 日のプログラムで心不全と上手に向かいながら生活していく方法を学んでいただけます。



心不全教育入院までの流れ



外来で各種検査と医師の診察を行います。

医師より教育入院を勧められた方は、看護師がくわしく説明を致します。

予約の空き状況を確認し、入院日を相談して決定します。

入院期間中は様々な職種のスタッフが説明や指導をさせていただきます。

退院後は通常通りの医師の外来診察を継続します。

医師に勧められたわけではなくても興味のある方は、スタッフに声をおかけください。



服装・持ち物・生活について

服装 軽装で過ごしやすい服 レンタルのご利用も可能です。

履物 かかとのある靴（スリッパやサンダルは禁止）

持ち物 服用中のお薬（自宅にある分はすべて、他院のものも）

筆記用具

「心不全教育入院（3泊4日）診療計画書」にサインをしたもの

個人の必要品（スマートフォン、タオル、洗面道具など）

自宅で使用中の血圧計（持参できる方）

生活：入院中は減塩食の提供となります。食料の持ち込みや間食は禁止です。

病院内は自由に活動できますが、リラックスして教育に集中することが重要です。

6:00～22:00はFree Wi-Fiをご利用いただけます。

栄養指導は、ご家族と一緒に学習頂くことができます。



費用概算(患者様負担分)

1割負担：17,000円 3割負担：51,000円（食事代別途：約4000円）

高額療養費制度の対象となります。（差額ベッド代、入院中の食事代などは対象外です）



お問い合わせ先

岡村記念病院（代表電話）055-973-3221